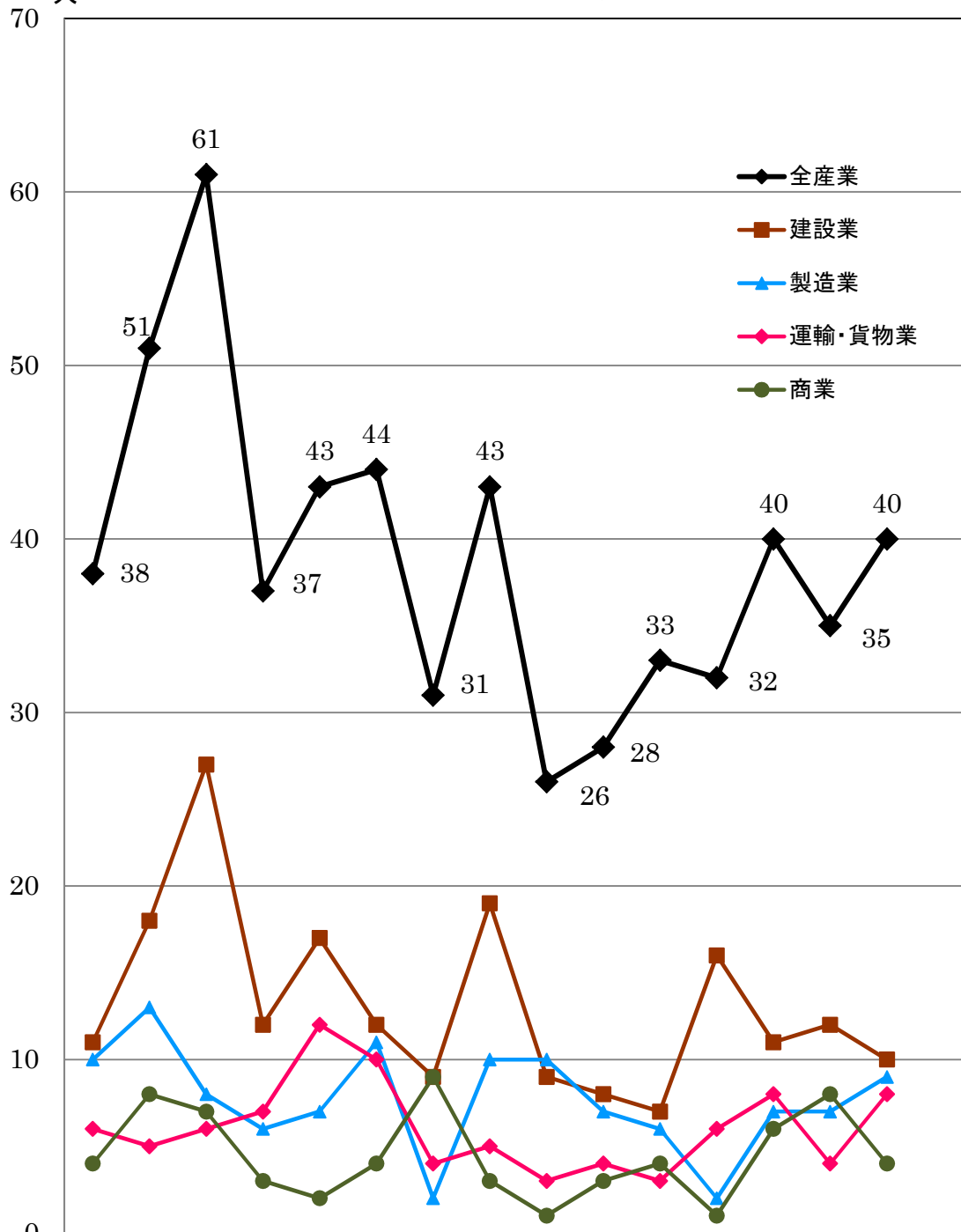


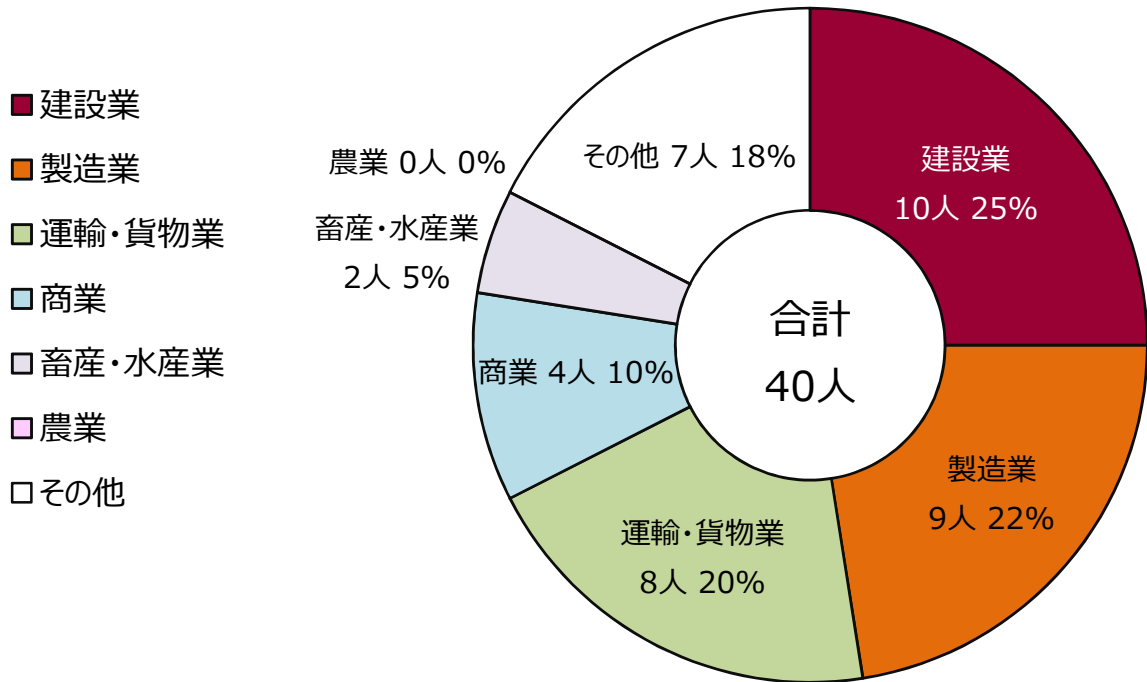
資料1 労働災害死亡者数の推移(茨城)



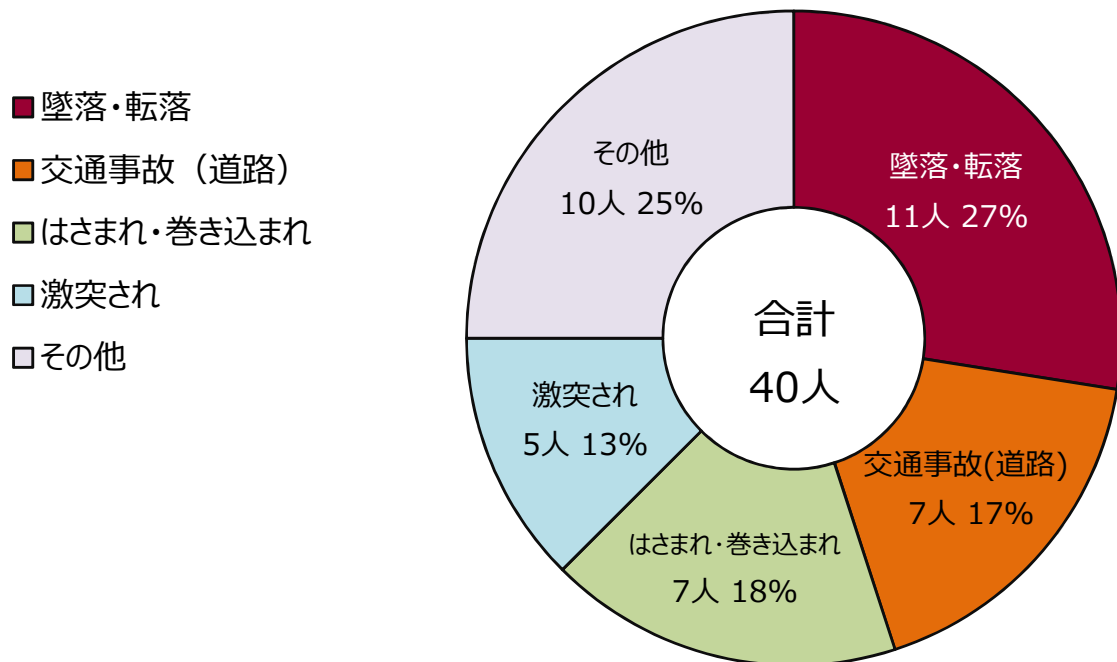
	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
全産業	38	51	61	37	43	44	31	43	26	28	33	32	40	35	40
建設業	11	18	27	12	17	12	9	19	9	8	7	16	11	12	10
製造業	10	13	8	6	7	11	2	10	10	7	6	2	7	7	9
運輸・貨物業	6	5	6	7	12	10	4	5	3	4	3	6	8	4	8
商業	4	8	7	3	2	4	9	3	1	3	4	1	6	8	4

(注)資料出所:『死亡災害報告』

## 平成26年業種別死亡者数



## 平成26年事故の型別死亡者数



## 資料 3

## 平成 26 年 死亡 災害 事例

NO. 発生月 時間帯	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
No. 1 1 月 9～10 時	土工 60 歳代 18 年	その他の建築 工事業	墜落・転落  屋根・はり・ もや・けた・ 合掌	鉄骨スレート屋根の倉庫解体工事において、被災者が屋根上で、80cm 間隔で設けられた母屋材に足を乗せスレート材(181cm×71cm)を外す作業を行っていたところ、スレートを踏み抜いて約7m 下のコンクリート床に墜落し、死亡した。 被災者が直前にいた場所には足場板(幅24cm、長さ400cm)が1枚設けられていた。
No. 2 2 月 14～15 時	作業員・ 技能者 60 歳代 8 ヶ月	セメント・同 製品製造業	激突され  フォーク リフト	工場内にて、コンクリート擁壁を製造する生コンクリートが入ったコンクリートバケットをフォークリフトで搬送していたところ、フォークリフトの前方に立ち入った被災者に接触、被災者は死亡した。
No. 3 3 月 14～15 時	管理者 60 歳代 22 年	その他の事業 —その他	おぼれ  水	毎月1回実施している川の水質検査のため、川岸からロープ付きステンレスバケツを川に投げ込み水を採取していたところ、川に転落しおぼれた。
No. 4 3 月 8～9 時	貨物自動車 運転者 50 歳代 25 年	一般貨物自動 車運送業	はさまれ・ 巻き込まれ  トラック	トラックの積荷の確認のため、荷台のウイング部を少し開け頭を入れて目視していたところ、足でウイングの開閉スイッチを押してしまい、アオリとウイングにはさまれ、25 日後に死亡した。
No. 5 3 月 9～10 時	型枠大工 20 歳代 7 年	鉄骨・鉄筋コ ンクリート造 家屋建築 工事業	崩壊・倒壊  支保工	トラッククレーンにて単管パイプ100本(約490kg)を、躯体外周の大引きの上に置き、被災者が玉外しの作業を行っていたところ、支保工が外側に向かって崩壊したため、高さ約3.9mの場所から墜落し、落下した単管パイプの下敷きになって死亡した。
No. 6 4 月 23～24 時	自動車 運転者 30 歳代 5 年	その他の事業 —その他	交通事故 (道路)  乗用車・バ ス・バイク	労働者2人で乗用車にて走行中、電柱に衝突し、助手席にいた労働者が死亡し、運転者は負傷した。
No. 7 4 月 17～18 時	鍛冶工 60 歳代 35 年	機械器具設置 工事業	崩壊・倒壊  その他の装 置・設備	工場において、ガス溶断でスクラップバケツ(鉄くずを入れる鉄製容器、重量約50t)の解体を行っていたところ、円柱状の同バケツの一部(3.9m×2.19m×20mm、重量4.7t)が倒れ、鉄製のかごとの間にはさまれ死亡した。

NO. 発生月 時間帯	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
No.8 4月 8～9時	金属工作 機械工 20歳代 9年	自動車・同付 属品製造業	飛来・落下  プレス機械	動力プレス(630t)でプレス作業の準備をするため、上下金型を取付け、試し打ちを行ったところ、上の金型が破損し、その金型破片が被災者に当たり死亡した。
No.9 4月 16～17時	その他の 作業者 50歳代 19年	採石業	はさまれ・ 巻き込まれ  掘削用機械	採石場で、堆積した碎石を除去するためドラグショベルを運転しコンベアの下を通過させようと高さを確認していたところ、操作レバーを誤って作動させてしまい、コンベアの下フレームと運転席にはさまれて死亡した。
No.10 4月 9～10時	技術者 30歳代 5年	その他の 小売業	激突され  荷姿の物	フォークリフト(4t)を用いてトラックから精密機械(約1.5t)の荷降ろし作業のため、被災者がフォークリフトの誘導を行っていたところ、フォークリフトから落下した荷に接触し、死亡した。
No.11 4月 8～9時	貨物自動車 運転者 50歳代 10ヶ月	その他の道路 貨物運送業	はさまれ・ 巻き込まれ  トラック	トラックで配送作業中、配送先の敷地内(緩やかな傾斜)にトラックを停車し、エンジンを止めて降車したところ、突然、トラックが後退し始めたため、被災者はトラックを停止させようとして、トラックと道路脇の石垣の間に身体をはさまれて振り落とされ、トラックの前輪にひかれて死亡した。
No.12 5月 8～9時	作業者・ 技能者 20歳代 2年	その他の事業 —その他	おぼれ  水	岸壁に船に係留するため、被災者は船からバースへ向けて投げられた先端にゴム重りが付いたロープを、岸壁で拾おうとして海へ落ちて溺死した。
No.13 5月 13～14時	ダクト工 20歳代 3年	機械器具設置 工事業	墜落・転落  屋根・はり・ もや・けた・ 合掌	自動車整備工場の塗装ブース設置工事において、スレート屋根の上で排気ダクトの組立、取付け作業を行っていたところ、歩み板及びトタンの上を移動中に転倒し、トタンの横のスレートを踏み抜き、9mの高さから墜落し死亡した。
No.14 5月 1～2時	自動車 運転者 30歳代 3年	その他の事業 —その他	交通事故 (道路)  乗用車・バ ス・バイク	運転代行の業務中、後方から来た乗用車に追突され、運転していた被災者が死亡し、同乗していた労働者も重傷を負った。
No.15 5月 23～24時	作業者・ 技能者 50歳代 2年	機械器具設置 工事業	火災  送配線等	作業終了後、被災者は会社から借用している部屋に戻り、ベッドで寝ていたところ、延長コードから発火し、火災となって死亡した。

NO. 発生月 時間帯	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
No.16 5月 16～17時	貨物自動車 運転者 60歳代 32年	セメント・同 製品製造業	墜落・転落  その他の装 置・設備	コンクリート片の処理機内部の清掃作業が終了し、処理機のカバー天板を元に戻すため、トラクターショベルのバケットで天板を持ち上げたところ、天板が傾いた。そのため、被災者がそれを直そうとして処理機の角パイプとショベルのバケットに足を掛けていたところ、バランスを崩し 2.49m 下のコンクリート床に墜落し死亡した。
No.17 6月 16～17時	作業員・ 技能者 70歳代 19年	その他の建築 工事業	墜落・転落  屋根・はり・ もや・けた・ 合掌	スレート屋根葺き建物の漏水補修工事のため、2名でスレート屋根上で作業中、被災者はスレート屋根を踏み抜き、高さ約 4.9m 下のコンクリート床に墜落し、死亡した。
No.18 6月 7～8時	運転者 50歳代 11年	一般貨物自動 車運送業	墜落・転落  トラック	積み荷の荷卸し待機中に、以前からトラックの荷台（ウイングボディ）天井部から雨漏りしていたので補修を行うため、荷台の屋根上（高さ 3.3m）に上って作業を行っていたところ、墜落し死亡した。
No.19 6月 15～16時	作業員・ 技能者 60歳代 4年	陸上貨物 取扱業	墜落・転落  フォーク リフト	被災者はフォークリフトに取付た搬器に乗り、高さ 6m の棚から部品の在庫を取り出した後、搬器を下ろすように合図し、フォークリフト運転者が搬器を下ろしていたところ、ドスンという音がした。確認したところ搬器内に被災者が倒れていた。その後、収容先の病院で死亡した。
No.20 6月 17～18時	製造工 30歳代 4ヶ月	その他の 木材・木製品 製造業	はさまれ・ 巻き込まれ  その他の動 力運搬機	木材加工ラインにおいて、木材を次のラインに投入する投入機に不都合が発生したため、投入機の内部に入ってトラブル処理をしていたところ、押込機とリフターのロールの間にはさまれ、死亡した。
No.21 6月 21～22時	運転者 40歳代 11年	一般貨物自動 車運送業	その他  その他の 起因物	営業所にて荷を積込作業後、荷主先で荷を下ろし、新たな荷を積込作業中、心筋梗塞を起こし倒れているところを発見され、その後死亡した。
No.22 7月 4～5時	配達員 70歳代 13年	新聞販売業	交通事故 (道路)  乗用車・バ ス・バイク	軽ワゴン車で新聞配達中、乗用車に追突され、死亡した。
No.23 7月 14～15時	土工 50歳代 33年	道路建設 工事業	高温・低温 の物との接 触  高温・低温 環境	道路工事現場において、草刈作業を行っていたところ、気分が悪くなり病院に搬送されたが熱中症により死亡した。

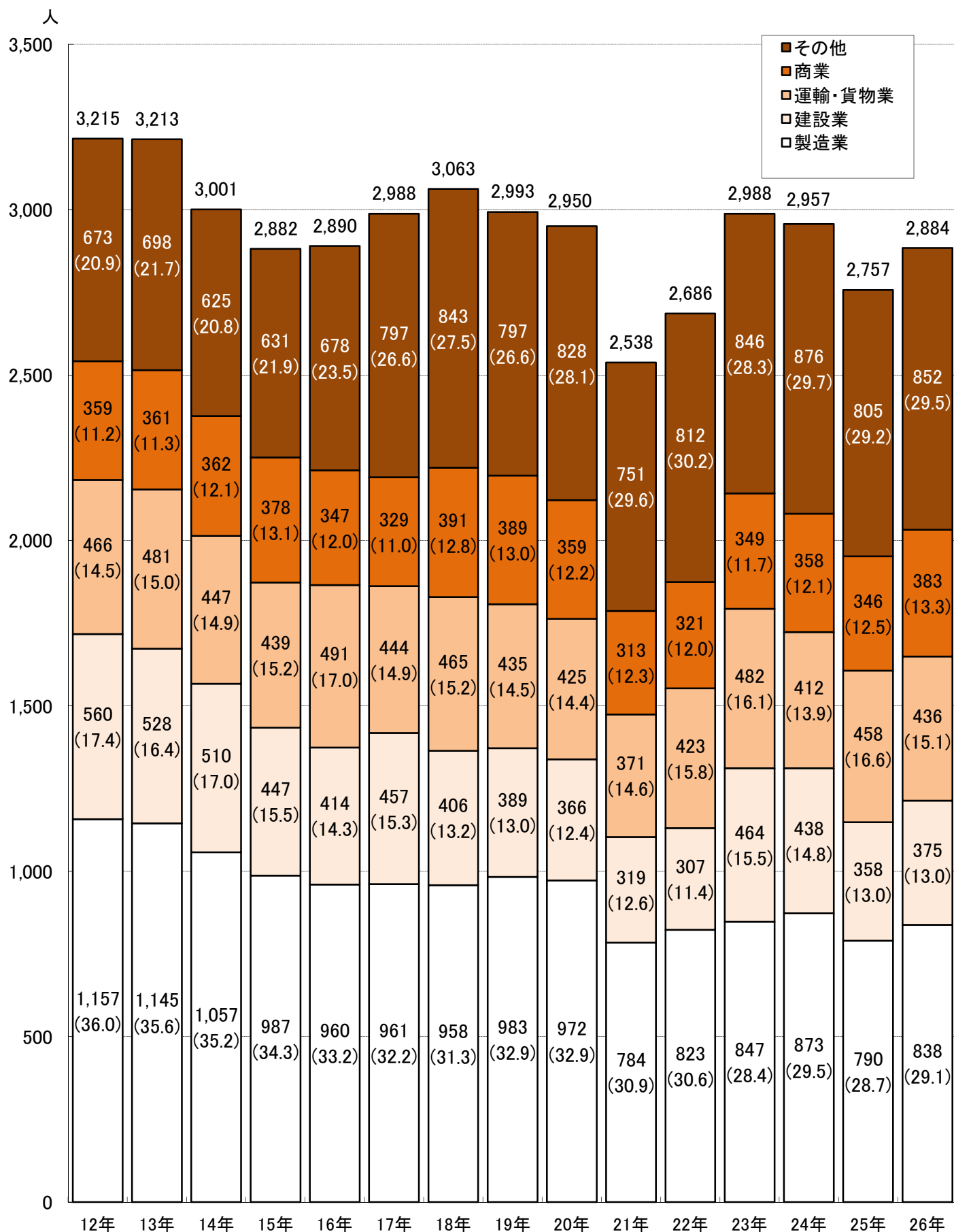
NO. 発生月 時間帯	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
No.24 7月 11～12時	作業員 40歳代 8年	ゴルフ場	墜落・転落	ゴルフ場のコース管理業務において、被災者はコースの法面（約47度）を乗用芝刈機で作業中、車輪が浮いて、車体が傾き、車外に投げ出された。その直後に芝刈機が転落し、被災者の頭部に激突して死亡した。
			その他の一般動力機械	
No.25 7月 23～24時	製造工 30歳代 15年	耐火物製造業	はさまれ・巻き込まれ	被災者はベルトコンベア下の床を清掃作業中、ベルトコンベアとローラーに巻き込まれているところを発見された。
			コンベア	
No.26 8月 4～5時	配達員 60歳代 6年	新聞販売業	交通事故（道路）	バイクで新聞配達中、片側2車線の右側を走行していたところ、後方から来た乗用車に追突され、死亡した。
			乗用車・バス・バイク	
No.27 8月 21～22時	作業員・技能者 50歳代 16年	自動車・同付属品製造業	激突され	自動車のアルミ製部品を製造する工程において、専用リフトによりアルミ原料を入れたバケットを、床から3mの高さにある溶解炉ホッパーまで引き上げ、投入したところ、バケットが下降しないため、被災者がリフト内部に立ち入った。その際、バケットが降下して激突し、死亡した。
			エレベータ、リフト	
No.28 9月 15～16時	作業員 40歳代 4年	港湾荷役業	激突され	船倉から原木（1本：約12m、直径約70cm）を揚貨装置を用いて荷揚げ作業中、約10本の原木をクラブバケットでつかみ巻き上げたところ、原木が回転し、原木の端が船倉上部で合図を行っていた被災者に激突し死亡した。
			荷姿の物	
No.29 9月 5～6時	作業員・技能者 30歳代 6年	畜産業	墜落・転落	馬のトレーニングセンター内で、調教中の馬が逃げているところを発見しコース内を確認したところ、被災者が倒れており、その後死亡が確認された。
			その他の環境等	
No.30 10月 9～10時	事務員 30歳代 8年	その他の土石製品製造業	はさまれ・巻き込まれ	事業場構内で、被災者が20mほど離れた場所にいた重機オペレーターに作業開始の合図を送っていたところ、別のホイールローダーが後退したため、ホイールローダーにひかれて死亡した。
			ローダー	
No.31 10月 5～6時	運転者 30歳代 7年	畜産業	交通事故（道路）	子牛を運搬するため、高速道路を走行中、タイヤがパンクしたため、ハザードランプを点灯させ、速度を落として左車線を走行していたところ、後方から大型トラックに追突され、横転し死亡した。
			トラック	



NO. 発生月 時間帯	職 種 年齢 経験年数	事業の種類	事故の型	災害の概要
			起因物	
No.32 10月 11～12時	とび工 50歳代 20年	その他の建築 工事業	墜落・転落 建築物・ 構築物	資材搬入のために使用した搬入用スライド ステージを移動式クレーンにて移設するため、 玉掛準備作業中、突然ステージが滑り出し、そ の反動でステージから振り落とされ、高さ約2 3mの搬入口より墜落し死亡した。
No.33 10月 3～4時	配達員 60歳代 13年	新聞販売業	交通事故 (道路) 乗用車・バ ス・バイク	原付バイクで新聞配達中、酒酔い運転の乗用 車に後ろから追突され、死亡した。
No.34 10月 13～14時	作業員 50歳代 2年	その他の金属 製品製造業	はさまれ・ 巻き込まれ フォーク リフト	フォークリフトで作業中、不具合のためフォ ークが降下しなくなったので、被災者はフォ ークの下に入り、油圧パイプの修理を行ってい たところ、フォークが急降下し、はさまれ死 亡した。
No.35 11月 9～10時	警備員 70歳代 1ヵ月	警備業	転倒 通路	警備作業中に対象店舗内の通路を歩いてい たところ、足を滑らせ転倒し死亡した。
No.36 12月 16～17時	管理者 40歳代 27年	一般貨物自動 車運送業	激突され トラック	構内の給油所において事務所から出てきた ところ、後退してきた12tトラックにはねら れ死亡した。
No.37 12月 1～2時	運転者 40歳代 21年	一般貨物自動 車運送業	交通事故 (道路) トラック	大型トレーラーで高速道路を走行中、前方の 大型トラックに追突し、死亡した。
No.38 12月 11～12時	作業員・ 技能者 70歳代 10年	その他の建築 工事業	墜落・転落 移動式 クレーン	資材置場において、積載型トラッククレーン (吊り上げ荷重 2.93t)の荷台から足場材を下ろ す作業中、荷台に平積みされた足場板上から 1.53m下の地面に墜落し、死亡した。
No.39 12月 8～9時	管理者 40歳代 12年	その他の 食料品製造業	墜落・転落 作業床・ 歩み板	冷却器のメンテナンス作業のため、1人で高 さ4mの場所で作業中、周囲の柵に寄りかかっ たため、柵の紐が切れて柵が開き、墜落し死 亡した。
No.40 12月 8～9時	左官工 60歳台 40年	鉄骨・鉄筋コ ンクリート造 家屋建築 工事業	転倒 通路	鉄筋コンクリート製の住宅リフォーム工事 現場において、同僚とともに足場の階段を登る 際、先に登った同僚が足場2段目で下を見た ところ、地上の通路上で頭部に外傷を受けて倒 れている被災者を発見したもの。その後、被災 者は病院に搬送されたものの、9日後に死亡 した。

資料4

死傷者数(休業4日以上)の推移 (茨城)



(注) 1. 資料出所:「労働者死傷病報告」

2. ( ) 内は、割合(%)を示す。



資料5 平成26年 業種別・規模別・事故の型別死傷災害発生状況(休業4日以上)の死傷者数)

業種別 区分別	事故の型																			合計	
	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き	切れ・こすれ	踏み抜き	おぼれ	と高温・低温の接触	有害物等との接触	感電	爆発	破裂	火災	道路交通事故(道路)	他交通事故(その他)	無動作の反動作・		その他
製造業	(2) 93	143	32	(1) 57	26	(2) 32	(4) 245	74	1		31	8			1	1	13		80	1	(9) 838
鉱業		1				1	(1) 2														(1) 4
建設業	(5) 144	(1) 36	13	34	(2) 14	16	43	31			(1) 8		1		(1) 1		8		22	4	(10) 375
運輸・貨物業	(2) 127	60	21	25	8	(2) 20	(2) 46	10			4						(1) 56	2	54	(1) 3	(8) 436
農業	8	6	4	3			6	9			1						1		2	3	43
林業	1	1		2		3		6											1		14
畜産業	(1) 39	11	3		1	23	17				1						(1) 3	1	13	2	(2) 114
水産業			1	1			1												2		5
商業	51	98	15	15	5	(1) 19	36	20			11				1		(3) 67		45		(4) 383
金融広告業		5					1										9				15
映画・演劇業																					
通信業	3	20	1	1		2	2										33	1	3		66
教育・研究業	7	9				1	2	5			1						1		7		33
保健衛生業	13	54	6	3	1	13	4	3			1						14		50	6	1 169
接客娯楽業	(1) 19	66	10	7	1	12	13	22			15			1			4	1	19	1	(1) 191
清掃・と畜業	23	24	3	4	5	2	7	4			2						4		10		88
官公署	2							1													3
その他の事業	11	(1) 32	4	4		5	11	4		(2) 2	2						(2) 21		11		(5) 107
合計	(11) 541	(2) 566	113	(1) 156	(2) 61	(5) 149	(7) 436	189	1	(2) 2	(1) 77	8	1	1	1	(1) 3	(7) 234	5	319	(1) 20	(40) 2,884

(注) ( )内は死亡者数で内数。